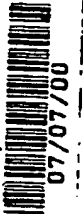


PATENT
905-241P

U.S. PTO
09/612093



IN THE U.S. PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant: KAWAOKA, Yoshiki et al.
Appl. No.: New Group:
Filed: July 7, 2000 Examiner:
For: PRINT ORDER SYSTEM AND METHOD

L E T T E R

Assistant Commissioner for Patents
Washington, DC 20231

July 7, 2000

Sir:

Under the provisions of 35 U.S.C. § 119 and 37 C.F.R. § 1.55(a), the applicant(s) hereby claim(s) the right of priority based on the following application(s):

<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filed</u>
JAPAN	11-195434	July 9, 1999

A certified copy of the above-noted application(s) is(are) attached hereto.

If necessary, the Commissioner is hereby authorized in this, concurrent, and future replies, to charge payment or credit any overpayment to Deposit Account No. 02-2448 for any additional fee required under 37 C.F.R. §§ 1.16 or 1.17; particularly, extension of time fees.

Respectfully submitted,

BIRCH, STEWART, KOLASCH & BIRCH, LLP

By

Michael K. Mutter, #29,680

MKM/cqc
905-241P

P.O. Box 747
Falls Church, VA 22040-0747
(703) 205-8000

Attachment

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

703-205-8000
KAWAOKA et al
905-241R
1061



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application:

1999年 7月 9日

出願番号
Application Number:

平成11年特許願第195434号

出願人
Applicant(s):

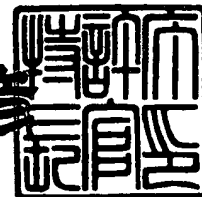
富士写真フイルム株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2000年 5月19日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

近藤隆彦



出証番号 出証特2000-3037780

【書類名】 特許願

【整理番号】 99064

【提出日】 平成11年 7月 9日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G03D 13/00

【発明の名称】 プリント注文システムおよびその方法

【発明者】

 【住所又は居所】 埼玉県朝霞市泉水三丁目 1 1 番 4 6 号 富士写真フイルム株式会社内

 【氏名】 河岡 芳樹

【発明者】

 【住所又は居所】 埼玉県朝霞市泉水三丁目 1 1 番 4 6 号 富士写真フイルム株式会社内

 【氏名】 田中 宏志

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区西麻布 2 丁目 2 6 番 3 0 号 富士写真フイルム株式会社内

 【氏名】 新貝 安浩

【特許出願人】

 【識別番号】 000005201

 【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100080322

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 牛久 健司

【選任した代理人】

 【識別番号】 100104651

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 井上 正

【連絡先】 0 3 - 3 5 9 3 - 2 4 0 1

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006932

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9800030

【包括委任状番号】 9800031

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 プリント注文システムおよびその方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 1 対 1 に対応しており、互いにデータ通信可能なプリント注文装置とプリント処理装置とからなるプリント注文システムにおいて、

上記プリント注文装置が、

プリントすべき画像を表す画像データを対応する上記プリント処理装置に送信する画像データ送信装置、および

プリントすべき画像のプリント枚数を含む注文データを上記画像データ送信手段から送信される画像データに関連づけて、対応する上記プリント処理装置に送信する注文データ送信手段を備え、

上記プリント処理装置が、

上記プリント注文装置の上記画像データ送信手段から送信された画像データを受信する画像データ受信手段、

上記プリント注文装置の上記注文データ送信手段から送信された注文データを受信する注文データ受信手段、および

上記画像データ受信手段により受信された画像データによって表される画像を、上記注文データ受信手段によって受信した注文データにしたがってプリントするようにプリンタを制御するプリンタ制御手段、

を備えたプリント注文システム。

【請求項 2】 上記プリント処理装置が、上記プリント注文装置の上記画像データ送信手段から送信された画像データ、上記プリント注文装置の上記注文データ受信手段から送信された注文データおよび上記プリンタの注文受付状態にもとづいてプリンタによるプリント終了時間を算出する算出手段をさらに備えた請求項 1 に記載のプリント注文システム。

【請求項 3】 上記プリント処理装置が、上記算出手段によって算出されたプリント終了時間を表すデータを上記プリント注文装置に送信する終了時間データ送信手段をさらに備えた請求項 2 に記載のプリント注文システム。

【請求項 4】 上記プリント処理装置が、上記プリント注文装置の上記画像データ送信手段から送信された画像データおよび上記プリント注文装置の上記注文データ受信手段から送信された注文データにもとづいてプリント料金を算出するプリント料金算出手段をさらに備えた請求項 1 に記載のプリント注文システム。

【請求項 5】 上記プリント処理装置の上記プリンタ制御手段が、上記注文データ受信手段によって受信した注文データの受信順序にしたがったプリント順序によりプリントするように上記プリンタを制御するものであり、

上記プリント注文装置が、上記プリント順序の変更指令を、上記プリント処理装置に送信する変更指令送信手段をさらに備え、

上記プリント処理装置が、上記プリント注文装置の上記変更指令送信手段から送信された変更指令にもとづいて上記プリント順序を変更するプリント順序変更手段をさらに備えた請求項 1 に記載のプリント注文システム。

【請求項 6】 プリント注文システムを構成するプリント処理装置と 1 対 1 に対応しており、かつ上記プリント処理装置と互いにデータ通信可能なプリント注文装置であり、

プリントすべき画像を表す画像データを対応する上記プリント処理装置に送信する画像データ送信手段、および

プリントすべき画像のプリント枚数を含む注文データを上記画像データ送信手段から送信される画像データに関連づけて、対応する上記プリント処理装置に送信する注文データ送信手段、

を備えたプリント注文装置。

【請求項 7】 プリント注文システムを構成するプリント注文装置と 1 対 1 に対応しており、かつ上記プリント注文装置と互いにデータ通信可能なプリント処理装置であり、

プリントすべき画像を表す画像データおよびプリントすべき画像のプリント枚数を含む注文データが互いに関連づけて対応する上記プリント処理装置に送信され、

上記プリント注文装置から送信される画像データを受信する画像データ受信手段、

上記プリント注文装置から送信される注文データを受信する注文データ受信手段、および

上記画像データ受信手段によって受信された画像データによって表される画像を、上記注文データ受信手段によって受信した注文データにしたがってプリントするようにプリンタを制御するプリンタ制御手段、
を備えたプリント処理装置。

【請求項 8】 プリント注文システムを構成するプリント処理装置と 1 対 1 に対応しており、かつ上記プリント処理装置と互いにデータ通信可能なプリント注文装置におけるプリント注文方法であり、

プリントすべき画像を表す画像データを対応する上記プリント処理装置に送信し、

プリントすべき画像のプリント枚数を含む注文データを上記画像データに関連づけて対応する上記プリント処理装置に送信する、

プリント注文方法。

【請求項 9】 プリント注文システムを構成するプリント注文装置と 1 対 1 に対応しており、かつ上記プリント注文装置と互いにデータ通信可能なプリント処理装置におけるプリント処理方法であり、

プリントすべき画像を表す画像データおよびプリントすべき画像のプリント枚数を含む注文データが互いに関連づけられて対応する上記プリント処理装置に送信され、

上記プリント注文装置から送信された画像データおよび注文データを受信し、

受信した画像データによって表される画像を、上記注文データにしたがってプリントするようにプリンタを制御する、

プリント処理方法。

【請求項 10】 客が注文した料理を表すデータおよびその客の席を識別するためのデータを送信する料理注文装置と上記料理注文装置から送信されたデータを受信する注文受付装置とからなり、上記料理注文装置と上記注文受付装置とが互いにデータ通信可能な料理注文システムにおいて、

上記料理注文装置が、

プリントすべき画像を表す画像データを記録媒体から読み取る画像データ読み取り手段、

上記画像データ読み取り手段によって読み取られた画像データを上記注文料理データおよび上記席識別データに関連づけて、対応する上記プリント処理装置に送信する画像データ送信手段、ならびに

プリントすべき画像のプリント枚数を含む注文データを上記画像データ送信手段から送信される画像データに関連づけて、対応する上記プリント処理装置に送信する注文データ送信手段を備え、

上記注文受付装置が、

上記プリント注文装置の上記画像データ送信手段から送信された画像データを受信する画像データ受信手段、

上記プリント注文装置の上記注文データ送信手段から送信された注文データを受信する注文データ受信手段、および

上記画像データ受信手段によって受信された画像データによって表される画像を、上記注文データ受信手段によって受信した注文データにしたがってプリントするようにプリンタを制御するプリンタ制御手段、

を備えた料理注文システム。

【請求項 1 1】 上記料理注文データによって表わされる注文料理についての食事終了予測時間をあらかじめ定めておき、

上記プリンタ制御手段は、上記食事終了予測時間に、注文された画像のプリントが終了するように上記プリンタを制御するものである、

請求項10に記載の料理注文システム。

【請求項 1 2】 料理注文システムを構成する注文受付装置と互いにデータ通信可能な料理注文装置において、

客が注文した料理を表すデータおよびその客の席を識別するためのデータを送信する注文料理データ送信手段、

プリントすべき画像を表す画像データを記録媒体から読み取る画像データ読み取り手段、

上記画像データ読み取り手段によって読み取られた画像データを上記注文料理

データおよび上記席識別データに関連づけて、対応する上記プリント処理装置に送信する画像データ送信手段、ならびに

プリントすべき画像のプリント枚数を含む注文データを上記画像データ送信手段から送信される画像データに関連づけて、対応する上記プリント処理装置に送信する注文データ送信手段、

を備えた料理注文装置。

【請求項 1 3】 料理注文システムを構成する料理注文装置と互いにデータ通信可能な注文受付装置において、

客が注文した料理を表すデータ、その客の席を識別するためのデータ、プリントすべき画像を表す画像データおよびプリントすべき画像のプリント枚数を含む注文データが互いに関連づけられて送信され、

上記料理注文装置から送信された注文料理データを受信する注文料理データ受信手段、

上記料理注文装置から送信された画像データを受信する画像データ受信手段、

上記料理注文装置から送信された注文データを受信する注文データ受信手段、

ならびに

上記画像データ受信手段によって受信された画像データによって表される画像を、上記注文データ受信手段によって受信した注文データにしたがってプリントするようにプリンタを制御するプリンタ制御手段、

を備えたプリント注文受付装置。

【請求項 1 4】 料理注文システムを構成する注文受付装置と互いにデータ通信可能な料理注文装置において、

客が注文した料理を表すデータおよびその客の席を識別するためのデータを送信し、

プリントすべき画像を表す画像データを記録媒体から読み取り、

読み取られた画像を表す画像データを注文料理データおよび上記席識別データに関連づけられて対応する上記プリント処理装置に送信し、

プリントすべき画像のプリント枚数を含む注文データを上記画像データ送信手段から送信される画像データに関連づけて対応する上記プリント処理装置に送信

する、

料理注文方法。

【請求項 1 5】 料理注文システムを構成する料理注文装置と互いにデータ通信可能な注文受付装置において、

客が注文した料理を表すデータ、その客の席を識別するためのデータ、プリントすべき画像を表す画像データおよびプリントすべき画像のプリント枚数を含む注文データが互いに関連づけられて送信され、

上記料理注文装置から送信された注文料理データ、画像データおよび注文データを受信し、

受信した画像データによって表される画像を、上記注文データにしたがってプリントするようにプリンタを制御する、

料理受付方法。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【技術分野】

この発明は、プリント注文システムおよび方法、プリント注文装置および方法およびプリント処理装置および方法、料理注文システム、料理注文装置および方法ならびに料理受付装置および方法に関する。

【0 0 0 2】

【発明の背景】

デジタル・カメラ、パーソナル・コンピュータ、プリンタの普及などにより、ユーザがデジタル・カメラを用いて撮影した画像をパーソナル・コンピュータに取り込み、家庭用のプリンタを用いてプリントすることが可能となってきた。

【0 0 0 3】

ところが、家庭用のプリンタは、低価格であるため解像度が高いとは未だ言い難い。高解像度の画像をプリントする必要がある場合には、プリントすべき画像を表す画像データをメモリ・カードなどの記録媒体に記録し、記録媒体を高解像度のプリンタがあるラボラトリに持っていく。ラボラトリにおいてメモリ・カー

ドを預かり、高解像度のプリンタを用いて画像をプリントする。

【0004】

このように、高解像度の画像をプリントするためにはメモリ・カードをラボラトリに預けなければならず気軽に高解像度の画像を得ることは難しい。

【0005】

【発明の開示】

この発明は、比較的気軽に画像のプリント注文ができるようにすることを目的とする。

【0006】

第1の発明によるプリント注文システムは、1対1に対応しており、互いにデータ通信可能なプリント注文装置とプリント処理装置とからなっている。

【0007】

上記プリント注文装置は、プリントすべき画像を表す画像データを対応する上記プリント処理装置に送信する画像データ送信装置、およびプリントすべき画像のプリント枚数を含む注文データを上記画像データ送信手段から送信される画像データに関連づけて、対応する上記プリント処理装置に送信する注文データ送信手段を備えている。

【0008】

上記プリント処理装置は、上記プリント注文装置の上記画像データ送信手段から送信された画像データを受信する画像データ受信手段、上記プリント注文装置の上記注文データ送信手段から送信された注文データを受信する注文データ受信手段、および上記画像データ受信手段により受信された画像データによって表される画像を、上記注文データ受信手段によって受信した注文データにしたがってプリントするようにプリンタを制御するプリンタ制御手段を備えている。

【0009】

第1の発明は、上記システムのプリント注文装置に適した方法も提供している。すなわち、この方法は、プリント注文システムを構成するプリント処理装置と1対1に対応しており、かつ上記プリント処理装置と互いにデータ通信可能なプリント注文装置におけるプリント注文方法であり、プリントすべき画像を表す画

像データを対応する上記プリント処理装置に送信し、プリントすべき画像のプリント枚数を含む注文データを上記画像データに関連づけて、対応する上記プリント処理装置に送信するものである。

【0010】

第1の発明は、上記システムのプリント処理装置に適した方法も提供している。すなわち、この方法は、プリント注文システムを構成するプリント注文装置と1対1に対応しており、かつ上記プリント注文装置と互いにデータ通信可能なプリント処理装置におけるプリント処理方法であり、プリントすべき画像を表す画像データおよびプリントすべき画像のプリント枚数を含む注文データが互いに関連づけられて、対応する上記プリント処理装置に送信され、上記プリント注文装置から送信された画像データおよび注文データを受信し、受信した画像データによって表される画像を、上記注文データにしたがってプリントするようにプリンタを制御するものである。

【0011】

第1の発明によると、上記プリント注文装置と上記プリント処理装置とは1対1に対応している。上記プリント注文装置から上記プリント処理装置にプリントすべき画像を表す上記画像データおよび上記注文データが送信される。

【0012】

上記プリント処理装置において、上記画像データおよび上記注文データが受信されると、上記画像データによって表される画像が上記注文データにしたがってプリントされるようにプリンタが制御される。

【0013】

上記プリント注文装置をユーザが使用可能な場所（コンビニエンス・ストア、スーパーの店内など）に置き、上記プリント処理装置をオペレータ、店員などが使用する場所（コンビニエンス・ストア、スーパーのカウンター内など）に置くことにより、ユーザが比較的気軽にプリント注文できるようになる。

【0014】

上記プリント処理装置において、上記プリント注文装置の上記画像データ送信手段から送信された画像データ、上記プリント注文装置の上記注文データ受信手

段から送信された注文データおよび上記プリンタの注文受付状態にもとづいて上記プリンタによるプリント終了時間を算出する算出手段をさらに備えるようにしてもよい。

【0015】

この場合、上記プリント処理装置の近くにいるオペレータなどがユーザにプリント終了時間を報知することとなろう。プリント終了時間が分かるので、プリント終了までの間に用事を済ますことができ、ユーザは時間を有効に使うことができる。

【0016】

プリンタの注文受付状態には、たとえば、そのプリンタによりプリントすべき画像の予定枚数などがある。

【0017】

上記プリント処理装置に、上記算出手段によって算出されたプリント終了時間を表すデータを上記プリント注文装置に送信する終了時間データ送信手段をさらに備えてもよい。

【0018】

プリント終了時間データが上記プリント注文装置に送信されるので、上記プリント注文装置の前にユーザがいる場合にはオペレータによらずに、ユーザにその終了時間を報知できる。

【0019】

上記プリント処理装置に、上記プリント注文装置の上記画像データ送信手段から送信された画像データおよび上記プリント注文装置の上記注文データ受信手段から送信された注文データにもとづいてプリント料金を算出するプリント料金算出手段をさらに備えることもできる。

【0020】

ユーザは、プリント料金を知ることができる。必要であれば、プリント料金を抑えるためにプリント枚数を少なくできるようになる。

【0021】

上記プリント処理装置の上記プリンタ制御手段が、上記注文データ受信手段に

よって受信した注文データの受信順序にしたがったプリント順序によりプリントするように上記プリンタを制御する場合には、上記プリント注文装置に、上記プリント順序の変更指令を、上記プリント処理装置に送信する変更指令送信手段をさらに備え、上記プリント処理装置に、上記プリント注文装置の上記変更指令送信手段から送信された変更指令にもとづいて上記プリント順序を変更する。

【 0 0 2 2 】

ユーザが急いでいるときには、プリントの順番を変更できるようになる。

【 0 0 2 3 】

第 2 の発明によるプリント注文システムは、客が注文した料理を表すデータおよびその客の席を識別するためのデータを送信する料理注文装置と上記料理注文装置から送信された注文料理データを受信する注文受付装置とからなり、上記料理注文装置と上記注文受付装置とが互いにデータ通信可能なものである。

【 0 0 2 4 】

上記料理注文装置には、プリントすべき画像を表す画像データを記録媒体から読み取る画像データ読み取り手段、上記画像データ読み取り手段によって読み取られた画像データを上記注文料理データおよび上記席識別データに関連づけて、対応する上記プリント処理装置に送信する画像データ送信手段、ならびにプリントすべき画像のプリント枚数を含む注文データを上記画像データ送信手段から送信される画像データに関連づけて、対応する上記プリント処理装置に送信する注文データ送信手段を備える。

【 0 0 2 5 】

上記注文受付装置には、上記プリント注文装置の上記画像データ送信手段から送信された画像データを受信する画像データ受信手段、上記プリント注文装置の上記注文データ送信手段から送信された注文データを受信する注文データ受信手段、および上記画像データ受信手段によって受信された画像データによって表される画像を、上記注文データ受信手段によって受信した注文データにしたがってプリントするようにプリンタを制御するプリンタ制御手段を備える。

【 0 0 2 6 】

第 2 の発明は、上記システムの料理注文装置に適した方法も提供している。す

なわち、この方法は、料理注文システムを構成する注文受付装置と互いにデータ通信可能な料理注文装置において、客が注文した料理を表すデータおよびその客の席を識別するためのデータを送信し、プリントすべき画像を表す画像データを記録媒体から読み取り、読み取られた画像を表す画像データを注文料理データおよび上記テーブル番号に関連づけられて、対応する上記注文受付装置に送信し、プリントすべき画像のプリント枚数を含む注文データを上記料理注文装置から送信される画像データに関連づけて対応する上記注文受付装置に送信するものである。

【 0 0 2 7 】

第 2 の発明は、上記システムの注文受付装置に適した方法も提供している。すなわち、この方法は、料理注文システムを構成する料理注文装置と互いにデータ通信可能な注文受付装置において、客が注文した料理を表すデータ、その客の席を識別するためのデータ、プリントすべき画像を表す画像データおよびプリントすべき画像のプリント枚数を含む注文データが互いに関連づけられて送信され、上記料理注文装置から送信された注文料理データを受信し、上記料理注文装置から送信された画像データおよび注文データを受信し、受信した画像データによって表される画像を、上記注文データにしたがってプリントするようにプリンタを制御するものである。

【 0 0 2 8 】

第 2 の発明によると、客が注文した料理を表すデータおよびテーブル番号とともに、プリントすべき画像を表す上記画像データおよび上記注文データが上記料理注文装置から上記注文受付装置に送信される。

【 0 0 2 9 】

上記注文受付装置において、上記画像データおよび上記注文データが受信される。上記画像データによって表される画像が、上記注文データにしたがってプリントされるようにプリンタが制御される。

【 0 0 3 0 】

料理の注文とともに、画像のプリントの注文が可能となる。

【 0 0 3 1 】

上記注文受付装置に客の席を識別するためのデータ（席番号を表わすデータ、テーブル番号を表わすデータなど）が送信されるので、料理の代金の精算とプリント代金の精算とを一緒にできる。

【0032】

上記料理注文データによって注文された料理についての食事終了予測時間をあらかじめ定めておいてもよい。これにより、上記食事終了予測時間に、注文された画像のプリントが終了するように上記プリンタを制御することができる。

【0033】

【実施例の説明】

（1）第1実施例

図1は、この発明の実施例を示すもので、コンビニエンス・ストアに置かれるプリント注文システムの概要を示している。

【0034】

コンビニエンス・ストアに置かれている店頭カウンタ20上にプリントを注文するためのプリント注文装置1が配置されている。

【0035】

プリント注文装置1には、本体13上にモニタ表示装置2が置かれている。このモニタ表示装置2の表示画面上には、タッチパネルが形成されている。本体の前面には、メモリ・カードの挿入口3が形成されている。また、本体13の一端には、アンテナ4が設けられている。

【0036】

店頭カウンタ20内には、プリント注文受付装置30が置かれている。

【0037】

このプリント注文受付装置30は、アンテナ31およびプリンタ37が含まれている。

【0038】

プリント注文装置1は、ユーザ（客）が操作するものであり、プリント注文受付装置30は、店員が操作するものである。もっとも、プリント注文装置1およびプリント注文受付装置30の両方の装置とも店員が操作するようにしてもよい。

【 0 0 3 9 】

ユーザは、プリントすべき画像を表す画像データが格納されているメモリ・カードを持参して、プリント注文装置 1 の前に立つ。ユーザは、持参したメモリ・カードをプリント注文装置 1 のメモリ・カード挿入口 3 に挿入する。ユーザは、プリント注文装置 1 を操作して、プリント注文を行う。プリント注文のためのデータは、プリント注文装置 1 からプリント注文受付装置 30 に送信される。プリント注文受付装置 30 において、注文にしたがって画像がプリントされる。プリントされた画像は店員によってユーザに渡される。ユーザは、プリントされた画像を受け取るとプリント代金を支払うこととなる。プリント注文処理の詳細は、以下の説明によって明らかになる。

【 0 0 4 0 】

図 2 は、プリント注文装置 1 の電氣的構成を示すブロック図である。

【 0 0 4 1 】

プリント注文装置 1 の全体の動作は、CPU 7 によって統括される。

【 0 0 4 2 】

プリント注文装置 1 は、その動作プログラムが格納されているプログラム・メモリ 9 を備えている。また、プリント注文装置 1 は、データを一時的に記憶するためのメモリ 8、およびモニタ表示装置 2 の表示画面上にプリント注文のための画像を表示するための画像表示用メモリ 10 を備えている。モニタ表示装置 2 の表示画面上には、上述したようにタッチパネル 11 が形成されている。

【 0 0 4 3 】

さらに、プリント注文装置 1 には、メモリ・カード挿入口 3 から挿入されたメモリ・カード 15 の挿入を検出し、メモリ・カード 15 に記録されている画像データの読み出しおよび書き込みを制御するためのメモリ・カード制御回路 6 が含まれている。さらに、アンテナ 4 からプリント注文受付装置 30 にデータを送信するための通信制御回路 5 が設けられている。

【 0 0 4 4 】

図 3 は、プリント注文受付装置 30 の電氣的構成を示すブロック図である。

【 0 0 4 5 】

プリント注文受付装置30の全体の動作は、CPU33によって統括される。

【0046】

プリント注文受付装置30は、その動作プログラムが格納されているプログラム・メモリ35を備えている。また、データを一時的に記憶するためのメモリ34およびプリンタ37を制御するためのSCSI (Small computer system interface) 制御装置36が含まれている。さらに、アンテナ31によるデータの送受信を制御するためのデータ送受信回路32が含まれている。

【0047】

図4は、ユーザが持参したメモリ・カード15のファイル構成を示している。

【0048】

ファイル名「IMAGES」によってファイル名「IMG00001.JPG」から「IMGnnnn.JPG」をもつ画像ファイルが管理されている。また、「ルート」によって自動プリント・ファイル「PRT INFO.TXT」および履歴ファイル「PRT HIST.TXT」が管理されている。

【0049】

図5は、自動プリント・ファイルの内容の一例を示している。

【0050】

自動プリント・ファイルは、画像のプリント注文データを格納するファイルである。この自動プリント・ファイルは、ユーザの自宅のパーソナル・コンピュータによって生成される。

【0051】

図5に示す自動プリント・ファイルでは、nn個のプリント注文データが格納されている。

【0052】

「JOB ID」は、プリントの一単位を識別するものである。「TYPE」は、プリントする画像の画質を示している。「STANDARD」は、標準画質である。「QUANTITY」は、プリント枚数を示している。「FILE」は、プリントする画像を表す画像データへのパスを示している。たとえば、{JOB ID=01, TYPE=STANDARD, QUANTITY=1, FILE=¥IMAGES¥IMG0001.JPG}であれば、ファイル名「IMG00001.JPG」

の画像ファイルによって表される画像を標準の画質で 1 枚プリントする、という意味となる。

【0 0 5 3】

図 6 は、履歴ファイルの内容を示している。

【0 0 5 4】

履歴ファイルは、自動プリント・ファイルの履歴を表すデータが格納されている。

【0 0 5 5】

「AUTOFILE DATETIME」は、自動プリント・ファイルのタイム・スタンプを表すデータが格納されている。「AUTOFILE STATUS」は、自動プリントのステータスが格納される。「AUTOFILE STATUS」には、「ORDER」（自動プリント未完了）または「COMPLETE」（自動プリント完了）が格納される。

【0 0 5 6】

図 7 (A) から (C) は、プリント注文受付装置 30 におけるプリント処理に用いられるプリント・キュー・テーブルの一例を示している。

【0 0 5 7】

プリント・キュー・テーブルは、プリントの順序を示すものである。

【0 0 5 8】

プリント・キュー・テーブルには、プリント順序、ユーザ ID、そのユーザのプリントの所用時間および優先順位が記憶されている。ユーザ ID は、ユーザに固有の ID である。この実施例によるプリント注文システムにおいては、原則としてプリント注文装置 1 によるプリントの注文の順序にしたがってプリントが行われるがプリントの順序を変更することもできる。この変更に使われるのが優先順位である。プリントの順序の変更処理について詳しくは、後述する。図 7 (A) に示すプリント・キュー・テーブルは、プリント順序の変更前の最初の状態を示し、図 7 (B) に示すプリント・キュー・テーブルは、プリント順序の変更後の状態を示し、図 7 (C) に示すプリント・キュー・テーブルはさらにプリント順序が変更された状態を示している。

【0 0 5 9】

図 8 は、プリント注文装置 1 の処理手順を示すフローチャートである。図 9 は、プリント注文受付装置 30 の処理手順を示すフローチャートである。図 10 から図 12 は、プリント注文装置 1 のモニタ表示装置の表示画面の一例を示している。

【 0 0 6 0 】

プリント注文装置 1 にユーザが持参したメモリ・カードが挿入されると、その旨を表すデータがプリント注文装置 1 からプリント注文受付装置 30 に送信される。

【 0 0 6 1 】

プリント注文受付装置 1 においてメモリ・カード 15 が挿入された旨を表すデータが受信されると、プリント注文装置 1 のプリンタ 37 のプリント状態、プリント中か、プリント中であればあとどのくらいでプリントが終了するか、プリント未処理の画像がどのくらい残っているかを示すプリント状態が検出される（ステップ 61）。検出されたプリント状態を表すデータは、プリント注文受付装置 30 からプリント注文装置 1 に送信される。

【 0 0 6 2 】

プリント状態を表すデータがプリント注文装置 1 において受信されると（ステップ 41）、受信したデータによって表されるプリント注文受付装置 30 のプリント状態がモニタ表示装置 2 の表示画面上に表示される（ステップ 41）。

【 0 0 6 3 】

プリント注文装置 1 に挿入されたメモリ・カード 15 の中に自動プリント・ファイルがあるかどうかを確認される（ステップ 42）。自動プリント・ファイルがある場合には（ステップ 42 で YES ）、履歴ファイルが参照され、履歴ファイルの中のステータスがチェックされる（ステップ 43）。履歴ファイルのステータスが完了を示しているとモニタ表示装置 3 の表示画面には、自動プリント・ファイルに格納されている注文データにもとづく注文（自動プリント）をもう一度行うかどうかを確認される（ステップ 44）。表示装置 3 の表示画面上には、図 10 に示すように自動プリントを行うかどうかの確認画像が現れる。

【 0 0 6 4 】

自動プリントを行わない場合には、プリント注文装置 1 のキーパッドから「0

」が入力される。すると、メモリ・カード15に記録されている画像データが読み出され、その読み出された画像データによって表される画像の縮小画像が表示装置3の表示画面上に一覧表示される。ユーザは、一覧表示された画像の中からプリントすべき画像をタッチすることにより選択する。また、そのプリント枚数も入力される（ステップ45）。表示装置3の表示画面上にはプリント枚数を入力するためのテン・キーパッドが表示されるのはいうまでもない。

【0065】

プリントすべき画像およびプリント枚数の指定が終了すると、指定された画像を表す画像データがメモリ・カード15から読み出される。読み出された画像データは、プリント注文装置1のメモリ8に一時的に記憶される。

【0066】

プリント注文装置1に挿入されたメモリ・カード15に自動プリント・ファイルがあり（ステップ42でYES）、履歴ファイルの中に記録されている自動ファイルのステータスが未完了を示していると（ステップ43）、自動プリント・ファイルに記録されている注文データにしたがって画像のプリント注文が行われる。このために自動プリント・ファイルから注文データが読み出される（ステップ46）。読み出された注文データは、メモリ8に一時的に記憶される。注文データによって指定される画像データがメモリ・カード15から読み出され、メモリ8に一時的に記憶される（ステップ47）

【0067】

履歴ファイルのステータスをチェックした結果、そのステータスが完了を示し（ステップ43）、自動プリント・ファイルによる画像のプリント注文が終わっていてもその自動プリント・ファイルに記録されている注文データの内容で再度注文したいことがある。この場合には、図10に示すように自動プリントの確認画像が表示されているときに、プリント注文装置1のキーパッドから「1」が入力される（ステップ44）。自動プリント・ファイルから注文データが読み出される（ステップ46）。注文データにしたがってメモリ・カード15から画像データが読み出される（ステップ47）。

【0068】

プリント注文装置 1 に挿入されたメモリ・カード 15 の中に自動プリント・ファイルがないときには、自動プリント・ファイルのステータスのチェックを行うことなく、プリントすべき画像の選択およびプリント枚数の入力がユーザによって行われる（ステップ 42 で N0、ステップ 45）。

【 0 0 6 9 】

メモリ 8 に一時的に記憶された画像データおよび注文データ（ステップ 45 でユーザが、プリントすべき画像およびプリント枚数指定した場合は、その指定した内容を表すデータが注文データとなる）は、通信制御回路 5 によってアンテナ 4 からプリント注文受付装置 30 に送信される（ステップ 48）。

【 0 0 7 0 】

画像データおよび注文データがプリント注文受付装置 30 のアンテナ 31 によって受信される（ステップ 62）。受信された画像データおよび注文データは、データ送受信装置 32 を介してメモリ 34 に与えられ、一時的に記憶される。プリント注文受付装置 30 において、受信した注文データにもとづいてプリント所要時間が算出される（ステップ 63）。

【 0 0 7 1 】

プリント所要時間は、たとえば、第 1 式にしたがって算出される。

プリント所要時間 = 残プリント処理所要時間

+ プリント注文枚数 × 1 枚のプリント所要時間

・・・第 1 式

【 0 0 7 2 】

残プリント処理時間を 10 分、プリント注文枚数を 20 枚、1 枚のプリント所要時間を 30 秒とすると、プリント所要時間は、10 分 + 20 枚 × 30 秒 = 20 分となる。

【 0 0 7 3 】

プリント注文受付装置 30 において算出されたプリント所要時間を示すデータがプリント注文装置 1 に送信される（ステップ 63）。

【 0 0 7 4 】

プリント注文装置 1 においてプリント所要時間を示すデータが受信されると、プリント注文装置 1 のモニタ表示装置 3 の表示画面上には、プリント所要時間が

表示される（ステップ49）。このときの表示画面の一例が図11に示されている。

【0075】

モニタ表示装置3の表示画面には、プリント所要時間（図11に示す例では66分）とクイック・プリント（上述したように優先順位を変更するプリント処理）を行うかどうかが表示されている。

【0076】

上述したように（図7(A) 参照），現在のプリント注文者のユーザ識別IDが「5」であり，プリント注文のプリント順序が4番目だとするとそのプリント注文者の注文したプリントが終了するまでの時間は，その前にすでに注文した顧客を考慮して10分+15分+23分+18分=66分となる。この時間がプリント所要時間としてプリント注文装置1のモニタ表示装置3の表示画面上に表示されている。

【0077】

クイック・プリントを行うとプリントが終了するまでの時間を短縮することができる。クイック・プリントでは，通常のプリント代金の他にクイック料金が加算される。クイック・プリントを行うとクイック料金が加算される旨がプリント注文装置1のモニタ表示装置3の表示画面上に表示される。ユーザは，表示画面上に表示されたクイック料金を見てその料金を支払ってまでもクイック・プリントを行うときにはクイック・プリントをする旨の指令（表示画面上のテン・キypadから1を入力する）をプリント注文装置1に与える（ステップ50でYES）。すると，優先順位の変更要求コマンドが発生し，プリント注文装置1からプリント注文受付装置30に送信される（ステップ51）。

【0078】

優先順位変更要求コマンドがプリント注文受付装置30において受信されると，その優先順位変更要求コマンドを与えたユーザの優先順位が1段階上がる（優先順位が「ノーマル」から「優先」に変更）。新たな優先順位で，そのユーザのプリントが終了するまでの時間が算出される（ステップ63）。優先順位が1段階上がったことによりユーザ識別ID「5」のプリント順序は図7(B)に示すように3番目となる。プリントが終了するまでの時間は10分+15分+28分=53分となる。算出された時間がプリント注文受付装置30からプリント注文装置1に送信され

る。

【0079】

プリント注文装置1の表示装置3の表示画面上に優先順位が変更された場合のプリント終了までの時間が表示される（ステップ49）。ユーザによって時間が確認される。この実施例では、さらに優先順位を変えることができる。さらに優先順位を変えるためにさらなるクイック料金が必要となる。ユーザがさらなるクイック料金の支払いに同意すれば（ステップ50でYES），優先順位の変更コマンドがプリント注文装置1からプリント注文受付装置30に送信される（ステップ51）。

【0080】

プリント注文受付装置30において優先順位の変更コマンドが受信されることにより、そのユーザの優先順位がさらに一段階上がる（優先順位が「優先」から「最優先」に変更）。図7(C)に示すように顧客識別ID「5」のユーザは、2番目の順序でプリントされることとなる。この結果、顧客識別ID「5」のユーザは、10分+18分=28分でプリントを終了することとなる。プリント所要時間を表すデータがプリント注文受付装置30からプリント注文装置1に送信される（ステップ63）。

【0081】

プリント所要時間を表すデータがプリント注文装置1において受信されると、表示装置3の表示画面上には、図12に示すように優先順位が変更された後のプリント所要時間が表示される（ステップ49）。表示された時間の条件でプリント注文を行う場合には、ユーザによって「1」が入力される（ステップ50でNOとなる）。プリント決定コマンドが発生し、プリント注文装置1からプリント注文受付装置30に送信される（ステップ52）。表示された時間の条件ではプリント注文を行わない場合には、ユーザによって「0」が入力されるのはいうまでもない。

【0082】

プリント決定コマンドがプリント注文受付装置30において受信されると、メモリ34に一時的に記憶されている画像データおよび注文データが読み出され、注文データにしたがってプリンタ37によって画像がプリントされる（ステップ64）。

また、プリント代金を表すデータが画像プリント注文装置30からコンビニエンス・ストアのレジスタに送信される。レジスタの表示装置の表示画面上にプリント代金が表示される。店員は、この代金を見て、プリント注文したユーザに代金の支払いを要求する。ユーザは、店員からの要求に応じてプリント代金を支払うこととなる。

【0083】

上述の実施例においては、プリント注文システムをコンビニエンス・ストアの店内に配置した場合について説明したが、その他の場所に配置してもよいのはいうまでもない。

【0084】

(2) 第2実施例

図13から図19は、第2実施例を示すものである。第2実施例は、ファミリー・レストランの店内において画像のプリントを注文する例である。

【0085】

図14は、ファミリー・レストランの店内の様子を示している。

【0086】

ファミリー・レストランでは、ウエイトレス（またはウェイター）がテーブルに座ったお客の料理の注文をとる。ウエイトレスは、携帯型の料理注文装置70を手にもち、お客の注文を入力する。料理注文装置70に入力された料理を表すデータは、料理注文装置70からたとえば、厨房にある料理注文受付装置90に送信される。料理注文受付装置90において、注文された料理を表すデータが受信され、注文に応じた料理が作られる。

【0087】

第2実施例は、このような料理注文システムを利用したものである。

【0088】

図14は、料理注文装置70の平面図である。

【0089】

料理注文装置70の下半分の領域には、キーパッド72、73および74が設けられている。キーパッド72は、料理の注文の入力を開始するときに押されるキーパッド

である。キーパッド73は、料理名を入力するときに押されるキーパッドであり、テン・キーパッドを兼用している。キーパッド74は、入力終了したときに押されるキーパッドである。

【0090】

料理注文装置70の上半分の領域には、表示画面71が形成されている。

【0091】

料理注文装置70の下端面75には、メモリ・カード15を挿入するための挿入口（図示略）が形成されている。

【0092】

料理注文装置70の上端面76から注文された料理を表すデータが送信される。

【0093】

料理注文装置70を用いて、料理を注文することができるとともに、画像のプリント注文ができる。詳しくは、以下の説明によって明らかとなろう。

【0094】

図15は、料理注文装置70の電氣的構成を示すブロック図である。

【0095】

料理注文装置70の全体の動作は、CPU78によって統括される。

【0096】

料理注文装置70は、その動作プログラムが格納されているプログラム・メモリ80を備えている。また、データを一時的に記憶するためのメモリ79および表示装置71（表示画面と同じ符号を付す）の表示画面上に画像を表示するための画像表示用メモリ81を備えている。

【0097】

さらに、料理注文装置70には、挿入されたメモリ・カード15を検出し、メモリ・カード15に記録されている画像データの読み出しおよび書き込みを制御するためのメモリ・カード制御回路77が設けられている。さらに、データを送信するための通信制御回路76が設けられている。

【0098】

図16は、料理注文受付装置90の電氣的構成を示すブロック図である。

【 0 0 9 9 】

料理注文受付装置90の全体の動作は、CPU93によって統括される。

【 0 1 0 0 】

料理注文受付装置90は、その動作プログラムが格納されているプログラム・メモリ95を備えている。また、データを一時的に記憶するためのメモリ94およびプリンタ97を制御するためのSCSI制御装置96が含まれている。さらに、アンテナ91によるデータの送受信を制御するためのデータ送受信回路92が含まれている。

【 0 1 0 1 】

図17は、料理注文装置70において生成される注文ファイルを示している。

【 0 1 0 2 】

ここでは、テーブル番号5番のお客がコーヒーを1つとファイル名「IMG00003.JPG」の画像プリントを8枚、ファイル名「IMG00004.JPG」の画像プリントを4枚注文した場合に得られる注文ファイルを示している。

【 0 1 0 3 】

ウェイトレスがテーブル番号5番のお客のところにやってくると、コーヒーを1つとファイル名「IMG00003.JPG」の画像プリントを8枚、ファイル名「IMG00004.JPG」の画像プリントを4枚の注文を受ける。ウェイトレスは、次の順序で料理注文装置70に注文を入力していく。

【 0 1 0 4 】

①スタート・キーパッド72を押す。②お客のテーブル番号と同じ番号のテン・キーパッド73を押す。③注文された料理名と同じ料理名が記載されているテン・キーパッド73を押す。④OKのキーパッド74を押す。

【 0 1 0 5 】

以上で料理の注文が終了する。すると、図17に示した注文ファイルのうち {Table ID=05, Order Type=COOKING, QUANTITY=1, MENU=COFEE} が生成される。Table ID=05は、お客のテーブル番号を示している。Order Type=COOKING は、料理の注文であることを示している。QUANTITY=1 は、注文した料理の品数を示している。MENU=COFEEは、注文された料理名を示している。

【0106】

画像のプリントを注文するときには、メモリ・カード15が料理注文装置70に挿入される。ウェイトレスは、次の順序で画像の注文を入力する。

【0107】

⑤プリントすべき画像の駒番号（ファイル名「IMG00003.JPG」の画像であれば、駒番号は、「3」、ファイル名「IMG00004.JPG」の画像であれば駒番号は、「4」である）と同じ番号のテン・キーパッド73がウェイトレスによって押される。⑥駒番号につづいて、その駒番号をもつ画像のプリント枚数と同じ番号のテン・キーパッド73が押される。⑦OKのキーパッド74が押される。

【0108】

以上で画像のプリント注文が終了する。すると、図18に示した注文ファイルのうち {Order Type=PRINT, QUANTITY=8, FILE=¥IMAGES¥IMG0003.JPG, Order Type=PRINT, QUANTITY=4, FILE=¥IMAGES¥IMG0004.JPG} が生成される。Order Type=PRINTは、画像のプリント注文であることを示している。

【0109】

図18は、料理注文装置と料理注文受付装置との処理手順の一部を示すフローチャートである。この図において、図8および図9に示すものと同一物には、同一符号を付して説明を省略する。

【0110】

上述のようにして注文ファイルが生成されると、生成された注文ファイルが料理注文装置70から料理注文受付装置90に送信される（ステップ48A）。

【0111】

料理注文装置90において、注文ファイルが受信されると、注文ファイルの中から Order Type を参照して料理の注文に関するデータと画像のプリント注文に関するデータとに分けられる（ステップ62A）。料理の注文に関する部分から注文された料理が分かり、その料理が作られる。画像のプリント注文に関するデータからプリント所要時間が算出される。算出されたプリント所要時間を表すデータが料理注文受付装置90から料理注文装置70に送信される（ステップ63A）。

【0112】

第 1 実施例と同様に料理注文装置 70 の表示画面にプリント時間が表示されることとなる。また、必要に応じてクイック・プリントが可能なのはいうまでもない。

【0 1 1 3】

料理の調理時間とその料理の食事時間を考慮して、上述したプリント時間を決定してもよい。

【0 1 1 4】

図 19 は、料理とその料理の調理に必要な平均的な時間（調理所要時間）とその料理の食事に必要な平均的な時間（平均食事時間）との関係を示している。

【0 1 1 5】

調理所要時間および平均食事時間のいずれも時間帯に応じて時間が定められている。料理の混み具合を考慮しているためである。

【0 1 1 6】

これらの時間は、一人の客が一品目を注文した場合の時間である。たとえば、一人の客が 11 時 30 分までに「A 定食」を注文した場合には、調理所要時間は、10 分であり、平均食事時間は、15 分である。したがって、その客が料理を注文して食事が終わるまでの時間は、25 分となる。

【0 1 1 7】

また、同一テーブルで同一の料理を注文した場合の総調理所要時間は、第 2 式にしたがって算出される。

【0 1 1 8】

総調理所要時間 = 各調理所要時間（図 19 に示された調理所要時間）

$$\times (1 + (n - 1) \times 0.2) \cdots \text{第 2 式}$$

【0 1 1 9】

また、同一テーブルで複数人が食事をしている場合の複数人平均食事時間は、第 3 式にしたがって算出される。

【0 1 2 0】

複数人平均食事時間 = 各平均食事時間（図 19 に示された平均食事時間） $\times 1.5$

\cdots 第 3 式

【0 1 2 1】

同一テーブルにおいて複数人が食事をするときには、上記総調理所要時間と上記複数人平均食事時間とを加算した時間をプリント時間とすることが好ましい。

【0 1 2 2】

食事が終了したときに、プリントが終了するようになる。食事を終了するまでの時間が長い客と短い客によってプリントの注文があった場合には、食事が終了するまでの時間が短い客からの注文を、食事が終了するまでの時間が長い客よりも優先させることもできる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

コンビニエンス・ストアの店内を示している。

【図 2】

プリント注文装置の電氣的構成を示すブロック図である。

【図 3】

プリント注文受付装置の電氣的構成を示すブロック図である。

【図 4】

メモリ・カードのファイル構成を示している。

【図 5】

自動プリント・ファイルの内容を示している。

【図 6】

履歴ファイルの内容を示している。

【図 7】

(A) から (C) は、プリント・キュー・テーブルを示している。

【図 8】

プリント注文処理の処理手順を示すフローチャートである。

【図 9】

プリント注文処理の処理手順を示すフローチャートである。

【図 1 0】

表示画面の一例を示している。

【図 1 1】

表示画面の一例を示している。

【図 1 2】

表示画面の一例を示している。

【図 1 3】

ファミリ・レストランの店内の様子を示している。

【図 1 4】

料理注文装置の平面図である。

【図 1 5】

料理注文装置の電氣的構成を示すブロック図である。

【図 1 6】

料理注文受付装置の電氣的構成を示すブロック図である。

【図 1 7】

注文ファイルの内容を示している。

【図 1 8】

プリント注文処理の処理手順の一部を示すフローチャートである。

【図 1 9】

料理と調理所要時間と平均食事時間との関係を示している。

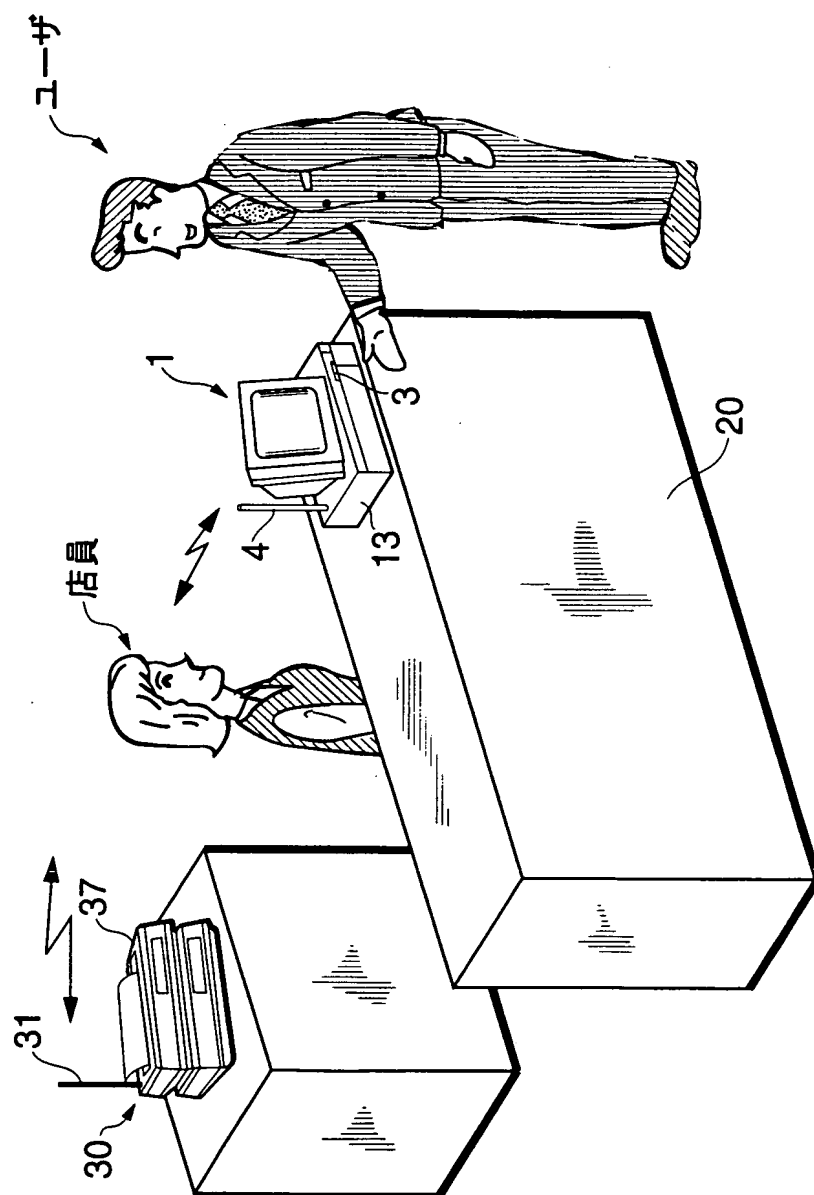
【符号の説明】

- 1 プリント注文装置
- 4, 31 アンテナ
- 5, 76 通信制御回路
- 7, 33, 78, 93 C P U
- 15 メモリ・カード
- 37, 97 プリンタ
- 70 料理注文装置
- 90 料理注文受付装置

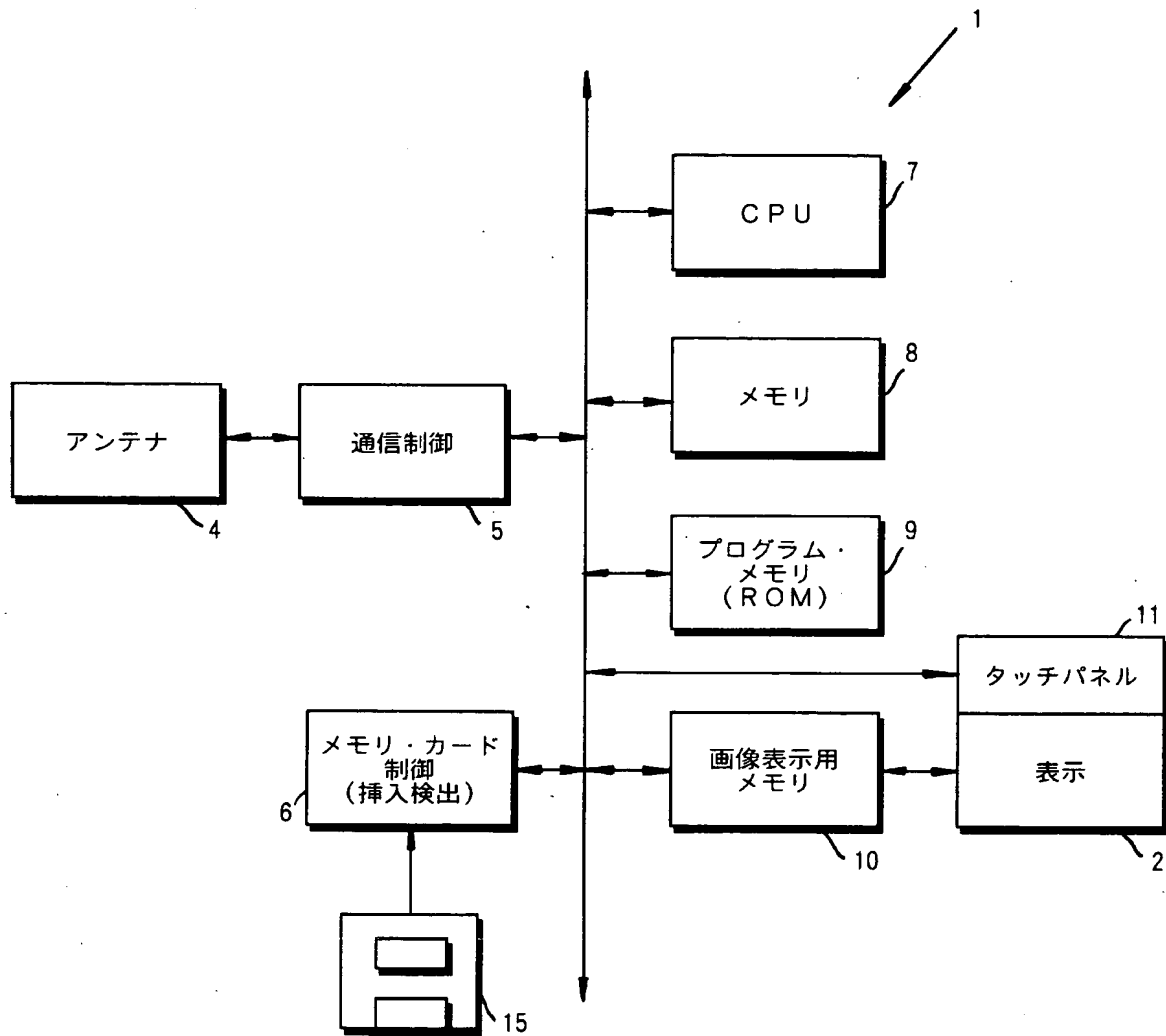
【書類名】

図面

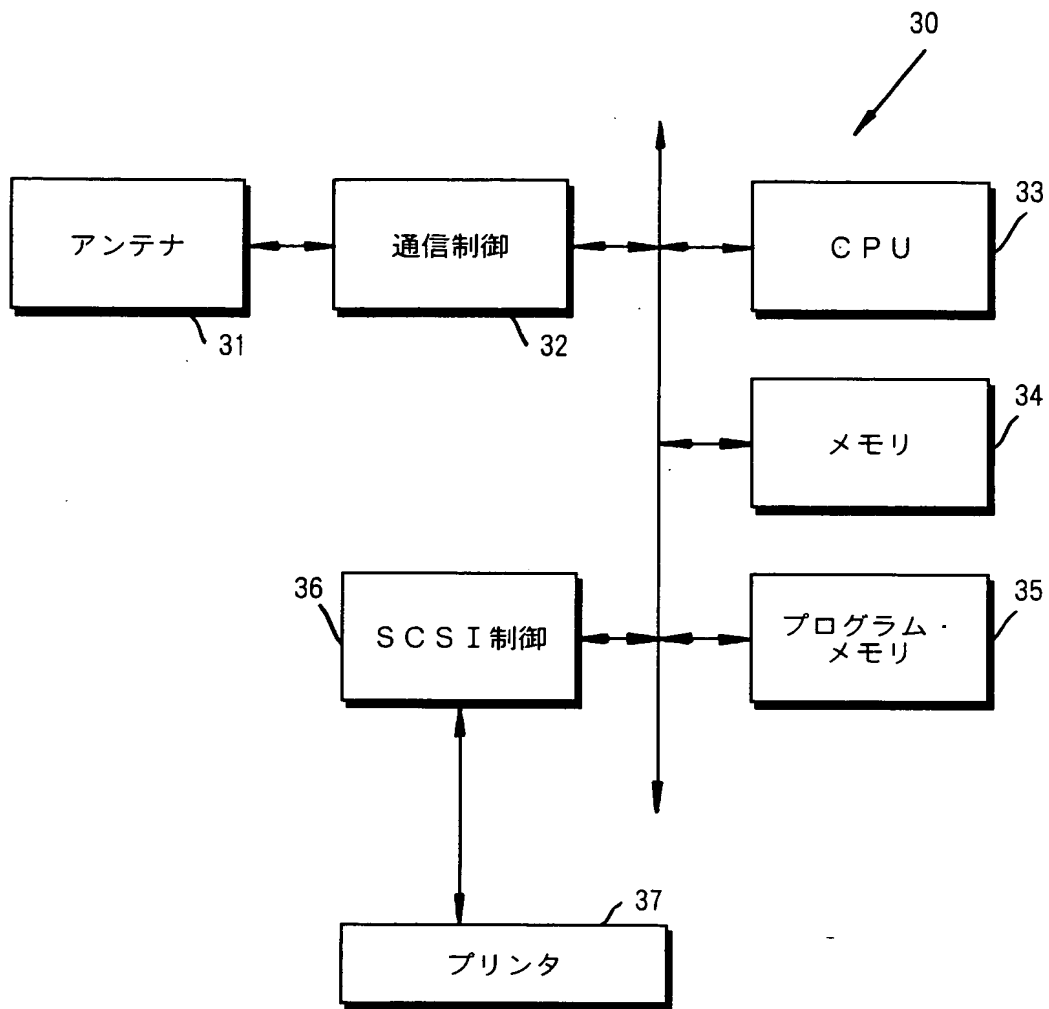
【図 1】



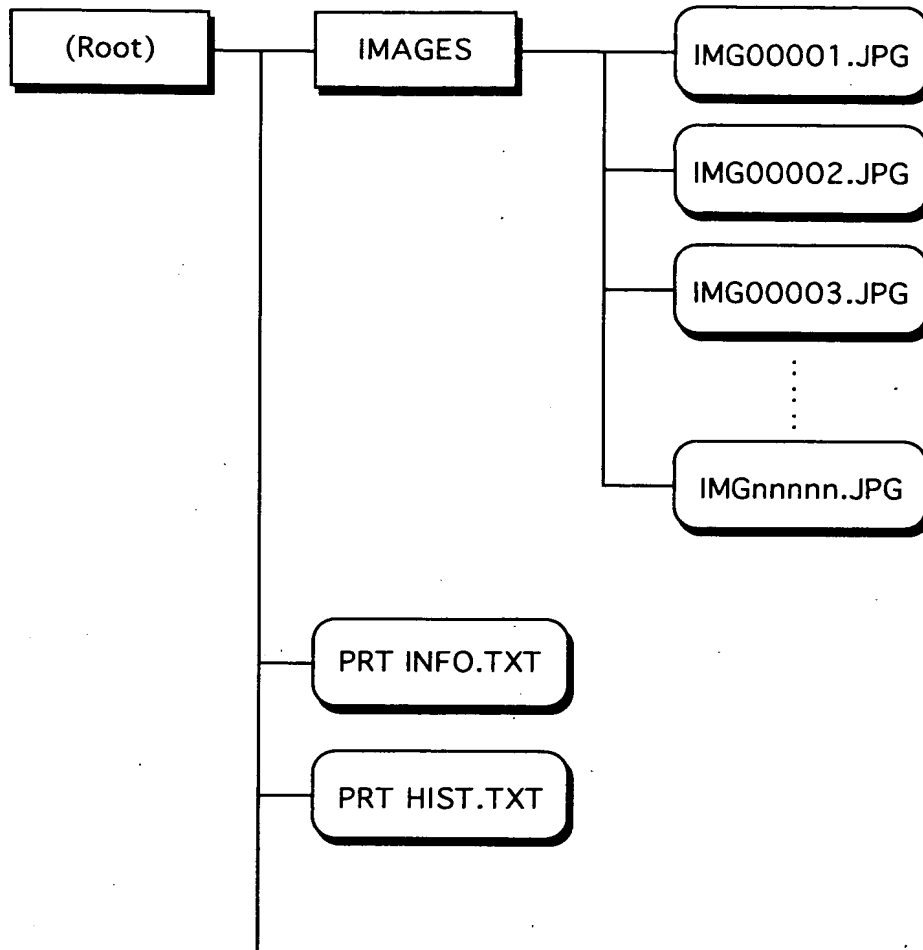
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【図 5】

自動プリント・ファイル

PRT INFO.TXT

```
{  
JOB_ID = 01  
TYPE = STANDARD  
QUANTITY = 1  
FILE = ¥IMAGES¥IMG00001.JPG  
}
```

```
{  
JOB_ID = 02  
TYPE = STANDARD  
QUANTITY = 8  
FILE = ¥IMAGES¥IMG00003.JPG  
}
```

```
{  
JOB_ID = 03  
TYPE = STANDARD  
QUANTITY = 4  
FILE = ¥IMAGES¥IMG00004.JPG  
}
```

:
:
:

```
{  
JOB_ID = NN  
TYPE = STANDARD  
QUANTITY = 2  
FILE = ¥IMAGES¥IMGnnnnn.JPG  
}
```

【図 6】

履歴ファイル

PRT HIST.TXT

AUTOFILE_DATETIME = 1998:01:01:12:30:00

AUTOFILE_STATUS = COMPLETE

【図 7】

優先順位変更前

(A)

プリント順序	ユーザ識別 I D	所要時間	優先順位
1	8	1 0 分	最優先
2	4	1 5 分	優先
3	1 0	2 3 分	ノーマル
4	5	1 8 分	ノーマル

第 1 回目の優先順位変更後

(B)

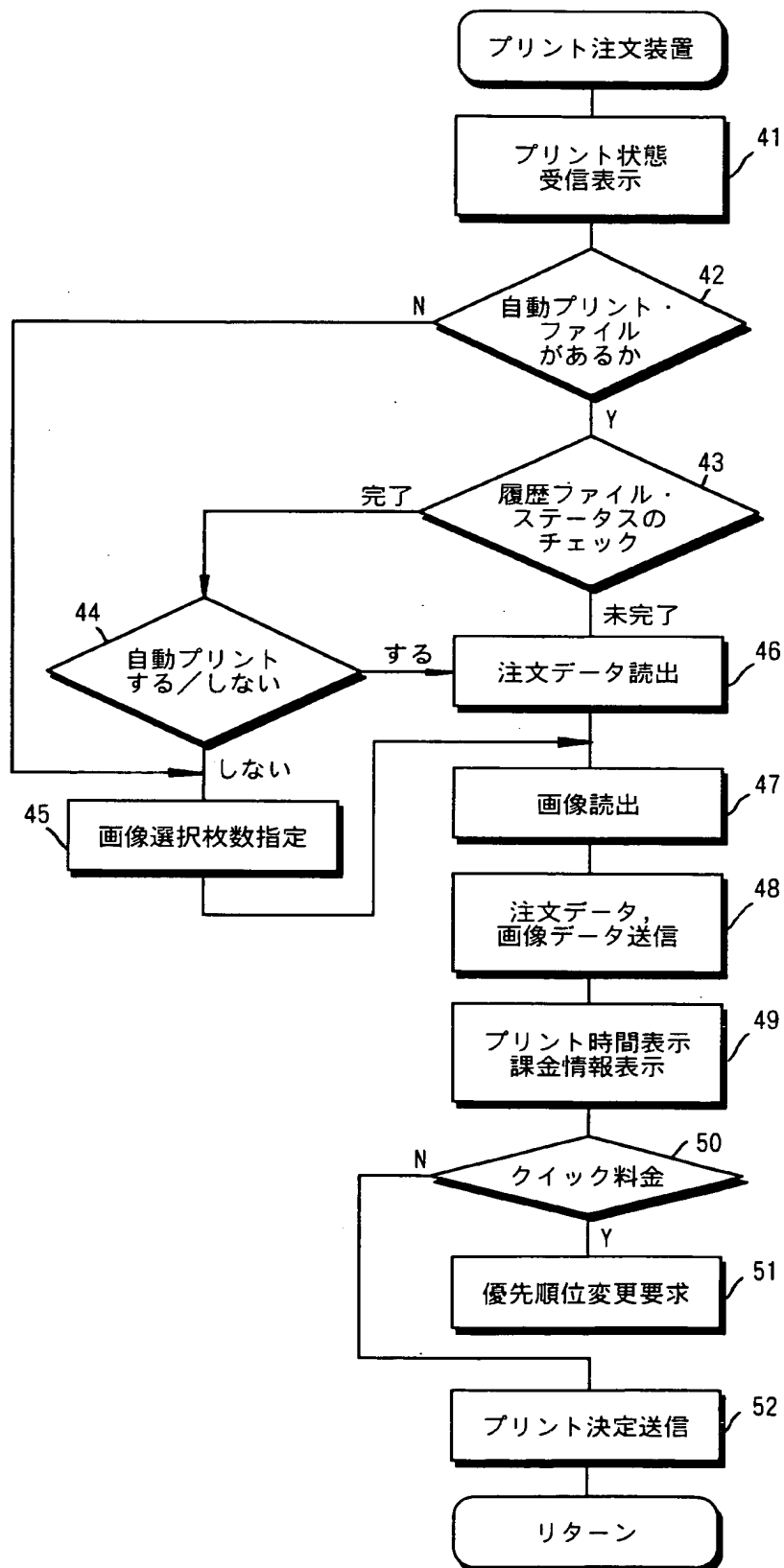
プリント順序	ユーザ識別 I D	所要時間	優先順位
1	8	1 0 分	最優先
2	4	1 5 分	優先
3	5	1 8 分	優先
4	1 0	2 3 分	ノーマル

第 2 回目の優先順位変更後

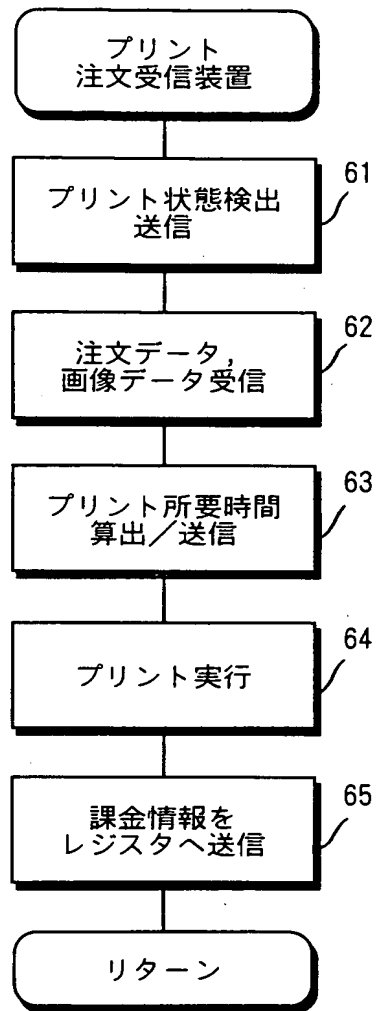
(C)

プリント順序	ユーザ識別 I D	所要時間	優先順位
1	8	1 0 分	最優先
2	5	1 8 分	最優先
3	4	1 5 分	優先
4	1 0	2 3 分	ノーマル

【図 8】



【図 9】



【図 1 0】

ファイル中に自動プリントファイルがあります。
この注文情報に従ってプリントする。→ 1 入力
注文を再設定する。→ 0 入力

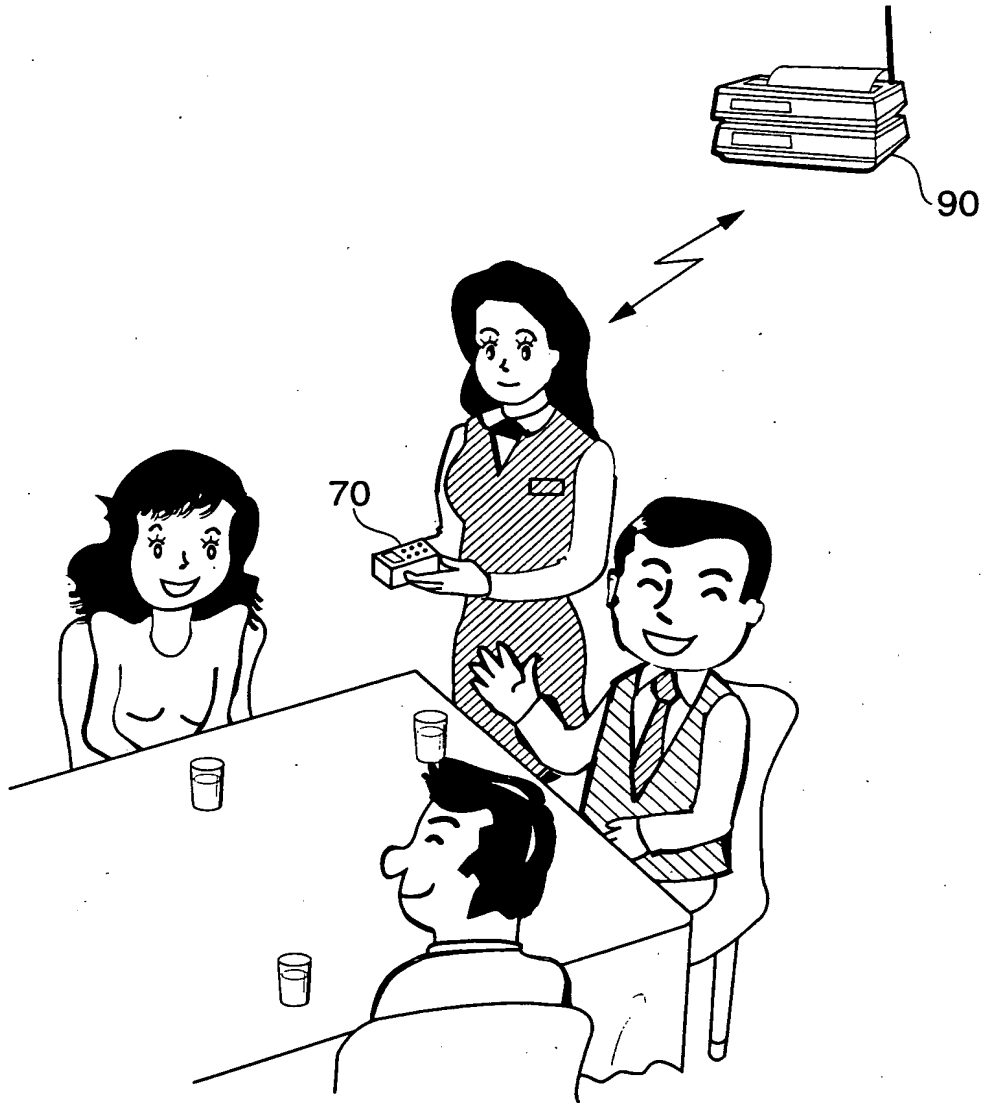
【図 1 1】

プリント完了まで 6 6 分かかります。
クイック・プリントを行いますか？
YES → 1 入力
NO → 0 入力

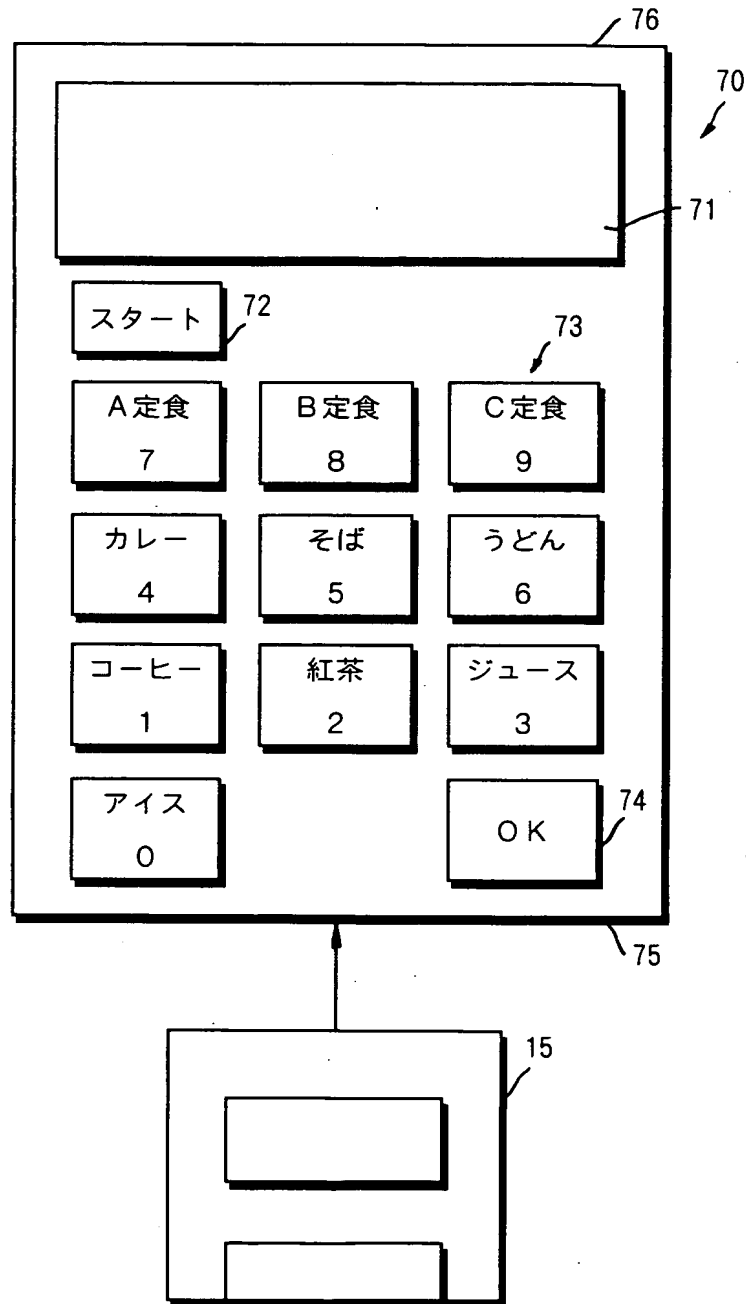
【図 1 2】

プリント完了まで 2 8 分かかります。
プリントを実行してよろしいですか？
YES → 1 入力
NO → 0 入力

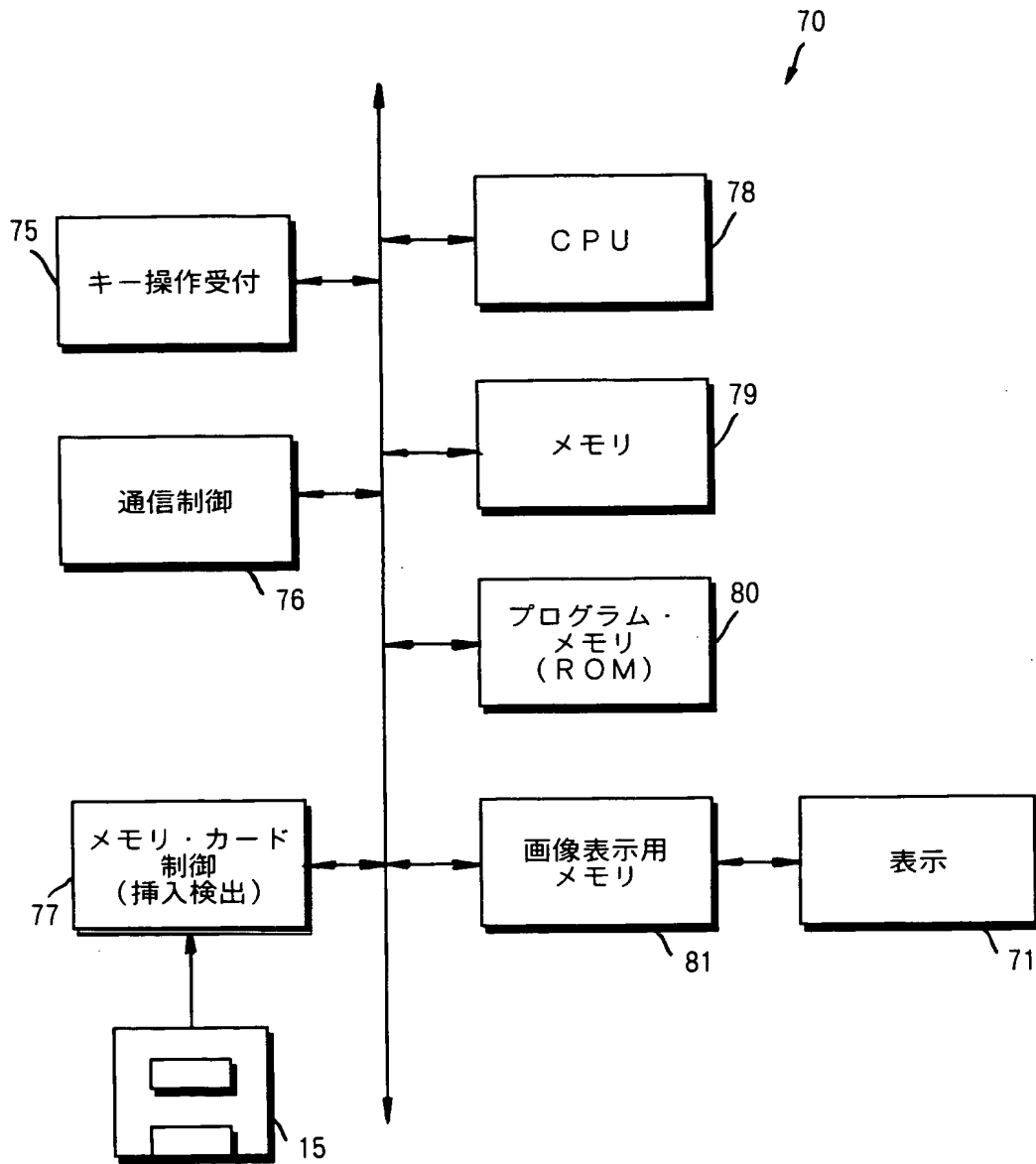
【図 1 3】



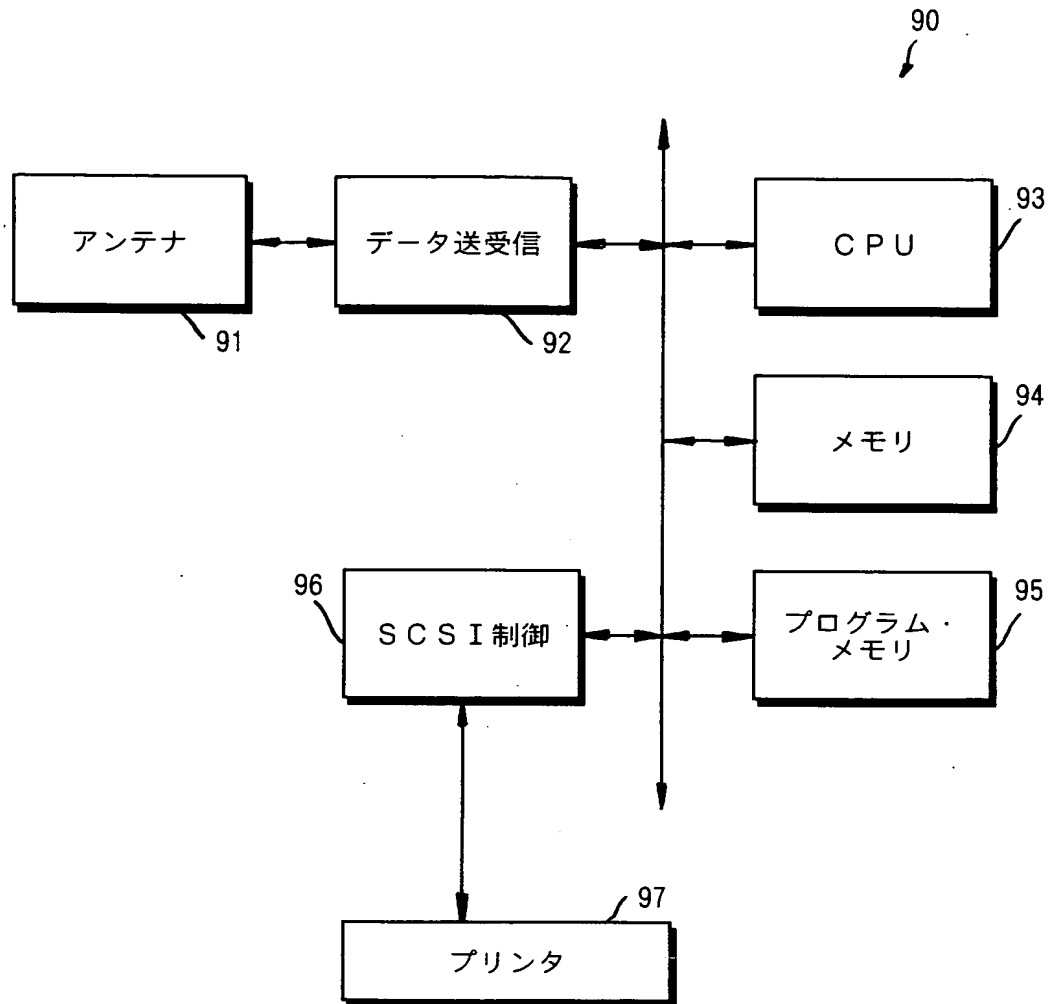
【図 1 4】



【図 1 5】



【図 1 6】

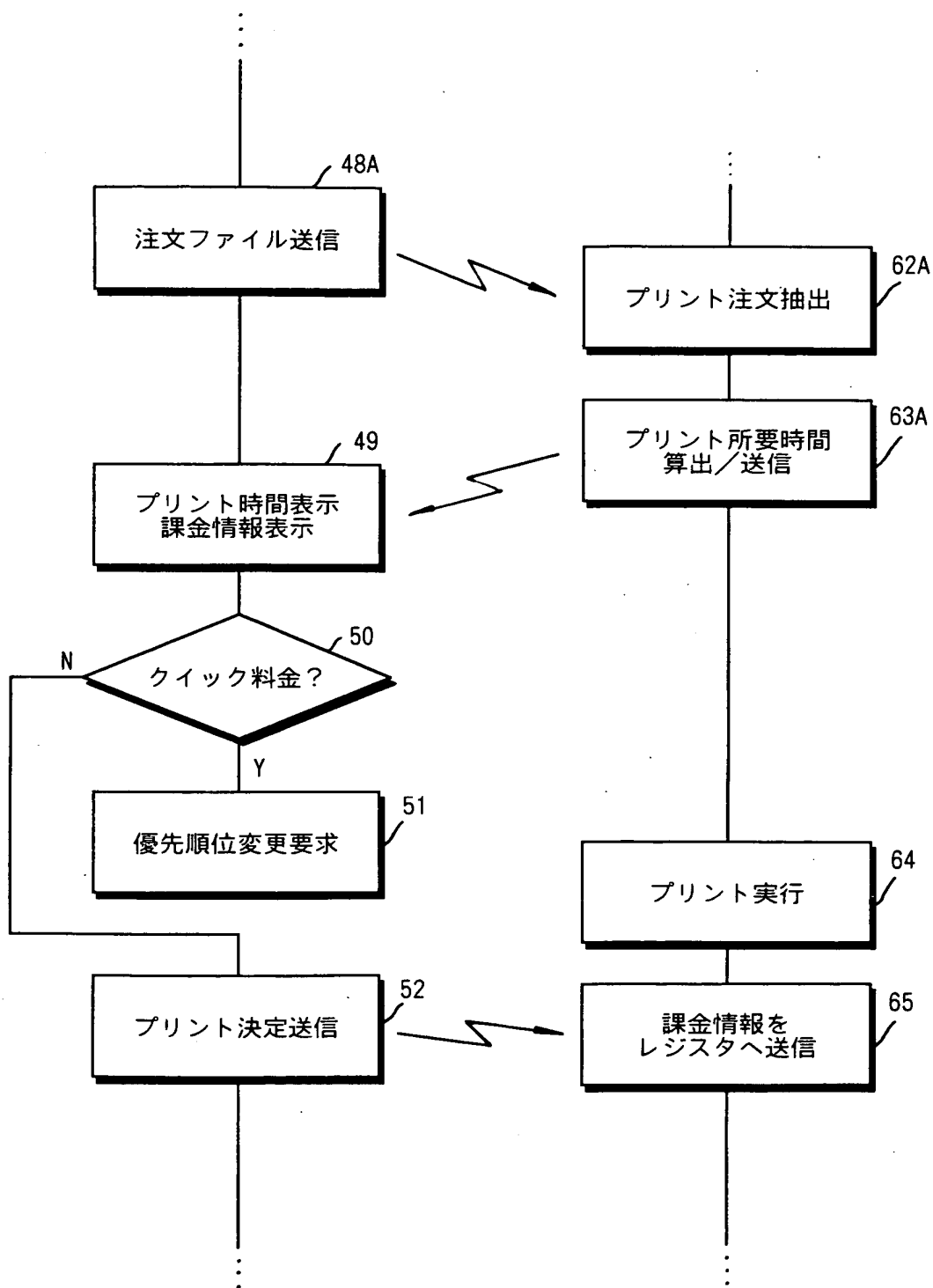


【図 1 7】

注文ファイル

```
{  
Table_ID = 05  
Order_TYPE = COOKING  
QUANTITY = 1  
MENU = COFEE  
  
Order_TYPE = PRINT  
QUANTITY = 8  
FILE = ¥IMAGES¥IMG00003.JPG  
Order_TYPE = PRINT  
QUANTITY = 4  
FILE = ¥IMAGES¥IMG00004.JPG  
}
```

【図 1 8】



【図 1 9】

	調理所要時間					平均食事時間				
	～11:30	～14:00	～17:00	～19:00	～11:30	～14:00	～17:00	～19:00		
料理										
A 定食	10分	8分	12分	10分	15分	10分	15分	20分		
B 定食	10分	8分	12分	10分	15分	10分	15分	20分		
C 定食	10分	8分	12分	10分	15分	10分	15分	20分		
カレー	5分	3分	8分	5分	15分	10分	15分	20分		
そば	5分	3分	8分	5分	15分	10分	15分	15分		
うどん	5分	3分	8分	5分	15分	10分	15分	15分		
コーヒー	2分	2分	5分	2分	20分	5分	20分	20分		
紅茶	2分	2分	5分	2分	20分	5分	20分	20分		
ジュース	2分	2分	5分	2分	20分	5分	20分	20分		
アイス	2分	2分	5分	2分	20分	5分	20分	20分		

【書類名】 要約書

【要約】

【目的】 比較的簡単に画像のプリント注文を行う。

【構成】 コンビニエンス・ストアのような店内に 1 対 1 に対応しているプリント注文装置 1 とプリント注文受付装置 30 とを置く。ユーザは、プリント注文装置 1 を操作して、がぞうのプリントを注文する。注文内容は、プリント注文受付装置 30 に送信される。プリント注文装置 30 において、注文にしたがって画像がプリントされる。プリント物は、店員によってユーザに渡される。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日	1990年 8月14日
[変更理由]	新規登録
住 所	神奈川県南足柄市中沼210番地
氏 名	富士写真フイルム株式会社